

観光客の誘致は、その拡大策は

町長 町内だけでなく、近隣市町とも連携し取り組む

新しい客を誘致する施設がある

問 観光4シーズン化や、紅花まつり、桜回廊などで多くの観光客を呼んでいる。他にも、観光客が増えている様々な施設や観光地がある。より観光客を増やすため、これらと連携するコースをつくり、アピールするべき。

町長 ここ数年の傾向として、少数旅行の形態に移行している。現状では、JR東日本と連携した「駅からハイキング」



石川重二議員

や、旅行エージェントと連携したトレッキングなど、幅広いコース設定をしている。フラワー長井線の利用による町内全体の周遊の促進にも取り組んでいる。

また、大きな経済効果を考慮し、町内のみの周遊だけではなく、近隣市町の観光地と連携したコース設定も重要と認識している。

今年度、観光協会の組織体制の強化を図るため、事務所を荒砥駅前交流施設に移転した。町観光協会や長井の「やまがた長井観光

局」とも連携し、魅力的な観光に向けた取り組みを進めていく。

施設維持管理に力を

問 白山森の夫婦観音などの各施設は、地区の方々などで維持管理しているが、高齢化等により管理が困難になってきている。町としても施設整備等に力を貸すべきでは。

町長 町内の観光施設には、町施設だけでなく、神社や風景・自然そのものなど幅広く存在している。これらを管理された方が、高齢化などで管理が困難となっている施設があると伺っている。

各地区においては、整備に取り組む目的や、地域づくり計画における位置づけを明確にして、地域住民の皆様との協力を得ながら、

維持管理する方策を見出していくことが重要と考える。

施設整備支援は、国の外国人観光客を推進するための補助事業もある。様々な要件があり、該当するか十分検討する必要があるが、ご相談いただきたい。



流しそうめん、んまいぞ！（のどか村）



地域の皆様と語り合いながら、確実に観光客を増やせるよう、地域活性化の努力を！